

# ふくいのかか 協会の生活

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)

TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

区画整理に伴う  
住所変更のご案内

福井市の土地区画整理事業換地処分に伴う町名・地番変更により当生協連合会の住所表示が上記の通り変更となりました。移転ではなく郵便番号および住所表示のみの変更となります。

2014年6月5日 No.103

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索



## 会員生協ボランティア活動

# 支援助成のご案内

会員生協のボランティア活動を支援します。

対象期間:2014年4月1日より2015年3月31日までの期間の活動を対象とします。

### 〈申請対象となる活動分野〉

- \*福祉…身体障害・知的障害・精神障害者、難病・長期疾病者、高齢者などの社会生活を豊かにするなどの活動
- \*環境…自然保護、環境保全、リサイクル活動や環境保全に関する啓発などの活動
- \*教育…子どもの健全育成、子育て支援などの活動
- \*国際協力…留学生・研修生などの外国籍市民との交流、途上国への協力などの活動
- \*その他…県連理事会で承認されたボランティア活動

### 〈助成金額〉

1生協5万円以内。総額20万円。

### 〈申請締め切り〉

2014年6月30日(月)までです。



問い合わせ先

それぞれの生協窓口  
または福井県生協連合会まで。

## 第18回 海岸クリーンアップ 参加者募集

Let's clean the coast!

1 9月6日(土)  
9:00~10:00  
鷹巣海水浴場

2 9月13日(土)  
9:00~10:00  
三国サンセットビーチ

※悪天候により事前に中止する場合があります。その際には連絡いたしますので、申し込み時に連絡先(電話番号)をお聞かせください。

持ち物 ゴミ袋は事務局で用意します。軍手や汗拭きタオル・火はさみなどは各自ご用意ください。



## いきいき消費者フォーラム2014

「いきいき消費者フォーラム2014」で、東日本大震災復興支援として商品を販売

5月25日(日)に敦賀市のプラザ萬象で開催された「いきいき消費者フォーラム2014」で、福井県生協連は他の協同組合とともに物品販売を担当しました。今回も東日本大震災復興支援として商品と花ポットを販売し、売上金4,200円を東日本大震災復興支援として福井県共同募金会に募金しました。また、講演会では、消費生活アドバイザーである阿部絢子氏が「～モノ・人・お金～シンプルに暮らす」をテーマに、「モノを持たない(持ちすぎない)暮らし、環境に負荷をかけない賢い暮らしをすることで、家事の負担も減る」と、シンプルライフの考え方を参加した消費者に伝授されました。



2013年度

# 福井県生協における ボランティア活動のまとめ



生協名	種類	取り組み内容
県庁生協	福祉	収集(収集箱を設置。使用済み切手・コイン等)
	環境	第17回海岸クリーンアップボランティアに参加
東日本大震災	福祉	各売店にて、東日本大震災への支援募金箱を設置
	福祉	収集(使用済み切手・コイン等)
学校生協	東日本大震災	現地ボランティア活動 職員2名参加 日時:6月21日(金)22時出発~6月23日(日)22時福井着 NPO未来ビレッジジャパンと福井県生協共催のボランティアバスツアーに参加。宮城県石巻市社鹿半島小浜にてエコ菜園プランター作り(100個寄贈)や、古民家再生活動及び児童通学路の草刈ボランティア活動への取り組み。
	環境	第17回海岸クリーンアップボランティア 日時:平成24年9月7日(土)午前10:00~ 蘆葉海水浴場 日時:平成24年9月14日(土)午前8:30~ 三国サンセットビーチ 参加人数 職員4名 作業内容 海岸清掃
大学生協	福祉	収集(収集箱を設置。使用済み切手・コイン等)
	交通安全	交通安全の日(自転車無料点検)
	国際協力	留学生とのお話会 留学生応援かき氷(留学支援のための募金活動とかき氷の配布)
	環境	キャンパス清掃 牛乳パック回収/リリパック(弁当容器)回収 第17回海岸クリーンアップボランティア(三国会場)5名参加
菅浜生協	環境	集落センターの清掃活動とゴキブリ団子づくり 生協前街路樹(山ももの木)の剪定 浜掃除 河川草刈り・清掃 精霊船作成 生協前の花壇花植え 生協まつり
	福祉	健康チェック (問診・健康相談・血管年齢測定・骨密度測定など)
	福祉	収集(収集箱を設置。使用済み切手・コイン等)
県民生協	福祉	家事・託児の有償による援助活動 嶺南水害ボランティア 9月20日~23日にかけて役員員のべ37名が、小浜市・若狭町のボランティアセンターで活動。
	環境	エコキャップ収集(店舗に収集ボックス設置) 第17回海岸クリーンアップボランティア(三国会場)参加 花咲かせようキャンペーン第2弾として、組合員による花の種の購入支援。4月11日みやぎ生協へ中川理事が贈呈。
	東日本大震災	被災地の手作り商品の販売支援。イベントにて、手作り商品の販売。 第1回ボランティアバス実施。宮城県石巻市社鹿半島小浜。33名参加。仮設住宅でのプランター野菜づくりと交流支援。古民家再生支援。 福島避難者の会「FFFの会」交流会支援。食事・お茶菓子などの提供。 8月被災地復興支援商品として、若手県産老産真崎わかめをハーツオリジナル商品企画として取り扱い開始。生産者支援をスタート。11月に田老町漁協の方をお呼びして、総代会議で状況の報告と組合員との交流を実施。 東日本震災支援ボランティアバスツアー。6月に続き、県内市民団体と共催で、9月宮城県石巻市への復興支援ボランティア活動に参加。職員(家族)10名、全体で35名。 福井県内に避難している方への年越しバック商品を県内支援団体と一緒に、安否確認しながら40セットお届け。生協からは、みかん、迎春リース、水ようかん、里芋、だし昆布を提供。 若手県大越町の6保育所、300人の園児に、クリスマスお菓子プレゼントの送付。
	東日本大震災	収集(収集箱を設置。使用済み切手・コイン等)
	東日本大震災	収集(収集箱を設置。使用済み切手・コイン等)



生協名	種類	取り組み内容
県民生協	東日本大震災	「いざというときに大切な人を守りたい!」ハーツはるえ(坂井エリア委員会主催)福島からの避難者のお話と交流、宮城県でのボランティア活動報告や備蓄品の展示。27名参加。 「復興を願うついで2014」(鯖江市閩陽会館)への参画と後援。 復興応援企画と手作り商品の販売ブース、チラシ配布協力、スタッフ弁当支援。
	福祉	健康チェック ~問診・健康相談・血管年齢測定・骨密度測定など(会場:ハーツさばえ・つるがはるえ・学園・たけふ店、Aコープ、イーザ、ユース、公民館、学校など) 赤いリボン活動 ~町内会役員さんと連携(毎日赤いリボンで安否確認) ひとり暮らし高齢者訪問 ~地区内のひとり暮らし高齢者宅への訪問対話 昼食・温泉・お出かけ ~高齢のみなさんと介護予防・昼食・温泉・お出かけ 収集(収集箱を設置。使用済み切手・コイン等)
医療生協	東日本大震災	食品中の放射能物質を測定する機器の購入と、東日本大震災被災地復興のための募金活動。 福島への看護師支援 宮城への看護師支援(仮設住宅健康チェック) 宮城県東松島市の被災地訪問行動(組合員理事参加)と特産物提供(200個) 福島の子ども達に福井の野菜を送る取り組み。
	環境	第17回海岸クリーンアップボランティア(高楽会場)参加
福井県生協連合会	東日本大震災	「福井県消費者総合フォーラム・交流展」において東日本応援商品の即売を行い、売り上げ全額を東日本大震災復興支援として福井県共同募金会に募金。
	福祉	「生協ボランティア月間」として会員生協に収集ボックスを配布し使用済み切手などを収集。また他団体や一般県民にもホームページなどで参加を呼びかけ、収集ボランティア活動を推進。収集物は福井県社会福祉協議会や福祉団体を通じて福祉活動に役立てられた。
	福祉他	会員生協のボランティア活動支援として、一般部門に3生協(福祉活動2、地域活動1)東日本大震災被災者支援部門に1生協(被災地でのボランティア活動)に助成。
	環境	第17回海岸クリーンアップボランティアを2会場(高楽9/7・三国9/14)で実施し、246名の参加。三国会場では海岸清掃の後に地元企画の地引網体験へ参加するというコラボ企画が実現。一般県民だけでなく、福井市野球連盟学童部や企業・団体の社会貢献・ボランティア活動として取り組めるものとして定着。



## 3.11 を忘れない

## ～被災地のいま～

### 急がば回れの合意形成

被災した自治体のなかには、集団移転や街づくりなどで住民との合意形成がスムーズに進まず計画が停滞しているところが多くありません。本来なら、行政が提示する複数の計画案を住民が検討して合意に至るべきなのですが、震災の非常事態で行政も住民もそのための時間を十分にとれませんでした。復興事業の着手を急ぐ行政の対応に住民から疑問の声が上がり、結果として計画の遅れを招くことになりました。

一方、気仙沼市内湾地区では防潮堤の高さを巡って行政と住民が対立。しかし県・市・住民の三者で議論を重ね、計画の変更を経て合意形成に至っています。

菅原昭彦さん(気仙沼商工会議所会頭)ら地域住民は、県の提示する防潮堤計画に高さの見直しを求めましたが、当初は平行線のままでした。「しかし、ただひとつ一致したのが復興を遅らせてはならないということでした。そこから県・市・住民が互いの役割を明確にして議論していこうと話が進んだのです。」

気仙沼市内には防潮堤を巡って話し合いの続く地域が、

まだ幾つかあります。「合意形成には行政の丁寧で誠実な対応がなければならぬし、住民が勉強する時間も必要」と菅原さんは言います。「県は内湾地区に対し、ここ数か月きちんと対応してくれました。同じ対応を他の地区でもやってくださいとお願いしています。合意形成に至るプロセスに必要なのは、急がば回れの精神なのです。」

丁寧さが復興のスピードを上げる近道でもあることを、気仙沼内湾地区の事例は教えてくれます。



▲「自分たちが理解し納得して決めていくことが子孫に対する現世代の使命」と話す菅原さん。地域の住民に呼びかけて「防潮堤を勉強する会」を立ち上げた。



▲気仙沼内湾地区。防潮堤建設とともに海が見えるよう土地のかさ上げも行われる。

福井県生活協同組合連合会 役職員学習会

体脂肪計を作る会社の社員がデブでどうする!

映画

社	夕	体
員	二	脂
食	夕	肪
堂	の	計

500Kcal

それは、社員の人生を  
変えるレシピ

笑いと涙で  
味わいアップ

しっかり笑って  
ストレスダウン

社運を賭けた  
ダイエットプロジェクトが  
いま始まる

社員も  
やせた!

観客も  
やせる!?

レシピだけでは  
語りつくせない  
“涙”と“笑い”!



日時：2014年7月5日(土)

13:00開演 (12:30開場)

小学生以下  
無料

会場 国際交流会館多目的ホール(福井市宝永3丁目1-1)

参加費 500円(くらなび会員は無料)

主催：公益社団法人ふくい・くらしの研究所  
共催：福井県民生活協同組合 福井県生活協同組合連合会  
後援：FBC福井放送

お問合せ・お申込み先  
福井県生協連合会事務局  
福井市開発5丁目1603番地 福井県民生協本部センター内  
TEL.0776-52-8815 FAX.0776-52-2050